

| | | |
|-----------|--|---|
| 科目名 | 法学入門 | |
| 担当者 | 長谷川 史明 / HASEGAWA, Fumiaki | |
| 科目情報 | 法律 / 必修 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次 | |
| 科目概要 | 授業内容 | 初めて法学を学ぶ人のために、最も基本となる事項を扱う。 |
| | 到達目標 | 次の3点を主な目標とする。 ① 法学で用いられる基本的な用語を正確に理解する ② 法学に特有な《ものの見方・考え方》を知る ③ 法学の学び方について知り、自分なりのやり方で日々実行できるようにする |
| 授業計画 | (1) この講義の概要説明 (2) 法学の学習方法① (3) 法学の学習方法② (4) 法と社会生活② (5) 法と社会生活② (6) 法の歴史 (7) 法体系の基礎① (8) 法体系の基礎② (9) 法解釈の基礎 (10) 法制度論の基礎 (11) 法と法学の諸分野① (12) 法と法学の諸分野② (13) 条文・判例の読み方の基礎① (14) 条文・判例の読み方の基礎② (15) 総まとめ | |
| 自学自習 | 事前学習 | ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。 |
| | 事後学習 | ※事前・事後学習としては、1回の講義につき、約4時間読書することを標準とします（目安としては、15回の講義期間内に、新書版の本を10冊程度読了する）。 詳細は講義時間に説明します。 |
| 使用教材・参考文献 | 【教】①『2013年版 U-CANの行政書士 はじめてレッスン [第3版]』（自由国民社、2012年）ISBN-13: 978-4426604301 ②『法学検定試験問題集（ベーシックコース）』（2013年度版） ※①②のいずれも、後期開講の「公法入門」と共通 【参】そのほかのものは、講義時間中に指示・紹介する。 | |
| 成績評価方法と基準 | 提出物及び試験による。法学検定試験（ベーシックコース）の「法学入門」程度の内容理解を、成績評価の基準とする。 | |
| 備考 | 勉強で一番大事なことは、「やる気」です。何事にも意欲的に取り組んでください。 | |